

「記憶の整理！！」 ～全てを本当の感謝に導こう！！～

創世記 39:1～23

あなたはこの1年、良い記憶と悪い記憶、どちらが多いですか？私たちは嬉しかったことはすぐ忘れてしまいがちですが、傷ついたり悲しかったりしたことはなかなか忘れることができません。しかし聖書には一見悪いものに見えたものがそのまま終わらず神様によって良いものに変えられた話があります。悪く思えることも見方を変えることで良いこととして受け取れるのです。また、あなたは同じ失敗や過ちを繰り返していませんか。人は過去を知らなければ同じ事を繰り返してしまう生き物です。ですからそのことを知り、知った上でどう行動したらよいかを考え実践していく必要があります。今日、創世記でヨセフに起こったことを通して、あなたが今まで受けた良いことも悪いこともなぜそのことが起こったのか全て整理し、それがあなたにとってどのように将来へと結びつくのか、良いものとして受け取るにはどうしたらよいか、神様から受け取っていきましょう。

ヨセフは、父ヤコブから他の兄弟よりも愛された故に兄たちから憎まれることになり、特にヨセフがみた夢のなかで、兄たちが自分に仕えることになると話をしたことで一層憎まれるようになります。こうした思いからヨセフは兄たちに殺されかけたうえに、エジプトに売られることとなり、結果エジプトの王パロの廷臣で侍従長ポティファルのところで奴隷として買い取られます。(創37) そのような状況の中でもヨセフには主が共におられたので、すべてのことにおいて成功を収めるようになります。こうして彼はポティファル家の財産管理を全て任せられるようになります。全てを任せられるということから彼がどれだけ信頼が置ける人であったかが伺い知れます。しかしその後ヨセフはポティファルの妻から無実の罪をきせられ、数年の間王の監獄に入れられることとなります。それでもどのような状況にあっても主がヨセフと共にいられたので、監獄の中においてもすべてのこと祝福し、成功を収めることとなります。(創39：1-23)

創39章にはヨセフの受けた理不尽な話が書かれています。しかし、これを通してヨセフはパロのNo. 2となる道が開かれます。また、創50章で、父イスラエルが死んだ後、兄弟はヨセフからの仕返しを恐れ、自分たちの罪を赦して欲しいと懇願する場面で、ヨセフは『あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。それはきょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした。(創50：20)』と、自分の人生を省み自分の問題点に気づきながら、全ての事を神様中心に歩いていきました。

聖書の中には理不尽に屈した人と屈しなかった人が描かれています。マイナスのことをどうプラスとして喜ぶか。私たちがそのことを神様から受け取って、実践していきましょう。そうすれば苦しみのなかを通るときも神様を信じる人に、神様は必ず助けを与えてくださいます。

また、ここでルネサンス時代の画家アルブレヒト・デューラーの描いた「祈りの手」という作品を紹介します。この作品は彼の友ハンスの存在があってこそ生まれたものです。当時デューラーとハンスはお互いに画家を目指す友でした。しかし、お金のなかった2人は1人が絵の勉強を、1人はそのためのお金を稼ぐことに専念しようと話し合いました。そこでハンスは自分がお金を稼ぐからと先にデューラーに絵の勉強をするようすすめます。そして数年後、デューラーは画家として成功し、今度はハンスに絵の勉強をせよとハンスのもとに向かいます。しかしハンスに会ったデューラーは愕然とします。ハンスの手は長年の鉄工所の仕事ですでに絵を描けるような状況でなかったのです。デューラーはハンスが自分のために人生を棒に振ったことを知り自分を責めました。そんなある日デューラーはハンスの家を訪れます。そこでデューラーは自分のことを恨むどころか祝福のために祈っているハンスの姿をみるのです。そこで彼はハンスに「君の手を描かせて欲しい」と伝えます。こうしてこの絵が完成したのです。この絵を描いたのはデューラーですが、この作品ができたのは、自分の人生を棒に振ってまで彼の将来を信じて尽くした友ハンスの存在があったからです。そしてこの絵をとおして私たちは祈る姿勢を教えられます。マイナスなこと大きなプラスとなったことの1つの出来事です。

私たちは誰でも相手に愛のある優しい言葉をかけたいと願っています。神様は私たちが素晴らしく作られたからです。しかし、人生を歩む上で傷ついたり絶望したりするなかで、人は汚い言葉、伝えたくない言葉を発してしまうようになります。気づけば本音でないことを相手に言ってしまうのです。そうならないように、神様の前で祈る祈りのように相手に語りかけましょう。人を変えるのは、優しい愛のある言葉なのです。

そのために、あなたの記憶を1年のうちに神様の前で整理しましょう。どうしてそういう事が起きたのか、神様はどう導こうとしているのかを考えていかなければいけません。ただの未知なる未来をみるのではなく、起こるべきして起こる神様の計画である将来を信じて歩みましょう。将来を受け取るために人生を整えていきましょう。良かったこと悪かったことを整理し、でこぼこだった道をまっすぐな道にせよと神様は言われています。神様は傷みの中でプラスを与えてくださいます。マイナスになるには自分にも必ず問題があるのです。そこに気づけば同じ過ちは起こさずなくなります。そうすれば、来年は今年よりもっと素晴らしい一年になります。世で忘年会をするように、今年はいいことがなかった。だから今年の嫌なことは全て忘れて来年こそ・・・ではいけないのです。

だからこそ、新年に向けて！**1. 愛され、尊敬される！・・・愛し尊敬することで、愛され尊敬されるのです。**誰も愛されたくない人はいません。だったらまずあなたが愛しましょう。そうすることでヨセフの人生も変わったのです。もしあなたが今まで辛い道を歩んだならば、これからは楽しみと喜びがあるのですから、今まで受けたマイナスを神様によってプラスに変えて愛され、尊敬される人生を歩みましょう。

2. 語るべきを語る・・・あなたが何かを語る時、言葉が足りないことはありませんか？例えば相手に良くなって欲しい部分、伝えたいことがあったとき、あなたはどうしますか。悪いところをみても本当のことを言わなかったり、全ての事を語らなかつたりしていませんか。また反対に、つますきを与えるほどにその部分だけを短い言葉で攻めるように指摘していませんか。どちらか一方だけをするのではだめで、両方が合わさって相手が聞き取れるように伝える必要があるのです。誰でも良い部分、悪い部分を持っています。ですから今ここにいる人たちが良い方向に進めるように互いに徳を高め、語るべきことはしっかり語っていきましょう。**3. 神の計らいを信じる！・・・**私たちに自分自身よりも自分の人生のことをすべて知っていて、自分を良い方向に導こうとする方がおられるのですから、その方を信じて歩いていきましょう。周りに振り回されることなく、信頼できる人と共に祈り、すべてを良いことに変えていきましょう。あなたの姿をみて幸せになる人がいるのですから、あなたから幸せを流し、みんなの流れと共に大きな幸せの流れをつくっていきましょう。

この今年1年振り返るといろんなことがあったと思います。その中の自分にとってマイナスに思えることを神様の計画を信じて、素晴らしい計画を受け取っていったなら、良いことのための計らいと分かり、あなたの生き方が変わっていきます。たとえ目の前にマイナスなことであっても神様によってすべては良いものに変えられると信じ、神様を見上げましょう。そうすれば悪かったことがあなたを通してみんな良くなっていくのです。今までの記憶を整理し、思いを祈りに変え、誰かのために生きる新しい1年を迎えましょう。(要約者：金光 瞳)